

“AI駆動型開発×フィジカルAI 最前線”を注目テーマに展開

去る7月23日(木)・24日(金)の両日、梅田・グランフロント大阪において協会主催のEdgeTech+West 2026を開催。“生成AIで進化する開発現場。ものづくりは『AIと創る』新時代へ”をテーマに、展示とカンファレンスでシステム開発技術の最新情報を発信しました。



展 示

連日の猛暑にもかかわらず、5000名を超える来場者で賑わいました。AI、組込みソフト、組込みハード/半導体デバイスなど、エッジ技術の最前線に立つ出展各社のソリューションを体験する貴重な機会となりました。

参加数	118社・団体 (123社・団体)
小間数	130小間 (142小間)
来場者数	5,442名 (6,225名)

※カッコ内は前年数値



出展者コメント

- 「自社ブースへの来場者は期待より少なかったが、実案件につながるリードがあり出展の意義があった」
- 「セミナー終了後、展示会場に足を運ぶ人の数が減っている印象をもった」
- 「会場の広さが手頃で、来場者がじっくりと展示を見てくれる」
- 「横浜展と比べると相対的に製造業の来場者が多く、現場寄りのツールの受けが良かった」
- 「基調講演の後など、展示会場内の来場者に波があり、多い時はブースの説明員で対応しきれない時間帯もあった」

カンファレンス

産官学からの業界リーダーによる基調講演をはじめ、注目テーマにも据えたAI駆動開発、フィジカルAIに切り込み、最新動向やエッジ開発とどう関わっていくのか議論するセッションなど、中身の濃い有料級セッションを2日間展開。多くの立ち見会場が出るほど注目を集めました。

講演数 **35セッション** (43セッション)

※カッコ内は前年数値

